

フレイル総合対策に向けた 異分野融合による地域共創の提案

～地域事情に合わせた総合的なフレイル対策を一緒に考えてみましょう～

地域ケア開発研究所

○所長・教授 ましの そのえ
増野 園恵

キーワード

フレイル, フレイル予防, 異分野融合, 地域共創
健康長寿社会, 健康寿命

研究概要

超高齢化社会を迎え、健康長寿社会の実現にむけて健康寿命を伸ばすための取り組みとして高齢者のフレイル予防への関心が高まっています。元々、老年医学の分野で始まったフレイルに関する研究も、近年では、医学、看護学、栄養学、運動科学等の健康科学分野から、社会科学、情報科学、工学等、広範な学問分野で取り込まれるようになっていきます。また、健康づくり、介護予防の行政施策としてフレイル対策に、取り組む自治体も多くなっています。しかし、個々の研究・技術開発は必ずしも連携しておらず、実社会での総合的対策に繋がっていない現状もあります。

兵庫県立大学には看護学、健康科学、情報科学、社会科学などの異なる分野でフレイル関連の研究に取り組む研究者がいます。そこで、地域ケア開発研究所では、学内でフレイル関連研究に取り組む異なる分野の研究者を有機的につなげて連携協働を促進し、総合的なフレイル対策を探究・提案するプラットフォームを構築するプロジェクトに着手しました。今年度はフレイル総合対策のプラットフォームの形成に向けた基盤整備として、①フレイルの共通概念モデルの作成とフレイル概念の普及促進、②地域のフレイル対策ニーズの掘り起こし、③学内資源の発掘と連携体制の構築に取り組めます。



公民館での健康生活相談・調査



呼吸法エクササイズ

アピールポイント

将来的にはフレイル総合対策のプラットフォームを形成し、このプラットフォームをフレイル研究の拠点およびフレイルに関する地域の健康課題を解決のためのするシンクタンクとして発展させたいと考えています。フレイルに関する研究成果や関連情報を発信していくと共に、フレイル予防に取り組みたい地域住民の皆さん、自治会やコミュニティグループ、市町などの関係機関担当者の皆さんからのご相談の窓口となり、学内の研究者への橋渡しや共同での活動の推進役になりたいと考えています。また、地元企業の皆様と共同で、フレイル対策のためのツールや商品開発にもつなげていきたいと考えています。